

新潟大学広報誌

新大広報



Niigata University Campus Magazine

2007年冬号

No.166



大学 図書館 活用術

特集1



特集2

新潟県 中越沖地震

～新潟大学の活動～

健康コラム

メタボリックシンドロームは学生にも身近な問題

shindai NEWS

学務部からのお知らせ

CAMPUS INFORMATION

第48回新大祭／新潟大学Week



編集後記

今回は、新潟大学の図書館を特集します。知の大きな集積場であり、知の有力な発信源でもある図書館は、知らぬ間に変化をとげて、学生諸君の旺盛な知的探求心を満足させる刺激的な施設となっています。さらに、中越沖地震における大学の取り組みも特集します。地域に貢献する大学の姿を御覧下さい。

●編集委員長 石坂妙子

今回の特集「大学図書館活用術」は文献で学ぶ環境についての記事でした。また、「中越沖地震」は学んだことを社会に生かす活動の記事でした。学びの基本が思考と実験実践であるとするならば、今回の記事は大学での学びの両方向についてのトピックでした。大学での図書館環境を生かして学び、その成果を社会に活用していく。そしてそれをまた学びの契機とする。そのサイクルの実現を感じました。

●編集委員 竹内照雄

今回の特集の一つは、附属図書館の紹介です。分かっていたようでも、まだまだ奥の深い使い方が隠れているようです。電子ジャーナルなどのデジタルコンテンツも充実していますが、新大ならではの貴重な古文書などもあるのです。大学の図書館をフル活用できるのは学生の間だけかもしれません。この冬、図書館にどんどん足を運んで下さい。

●編集委員 末吉 邦

今号の特集は図書館と新潟県中越沖地震。五十嵐地区の学部資料室は時に利用するのですが、これまで利用したことのない、しかし時に必要な図書を所蔵している医歯学図書館の様子をはじめと知りました。中越沖地震の記事では、様々な活動が、2004年の中越地震の教訓を生かして取り組まれたことがわかります。ボランティア活動も含めて、持続した活動の必要性を痛感しました。

●編集委員 井村哲郎

高校までの図書館とは、趣が全く違う大学の図書館を利用していますか？授業とクラブ活動が忙しくてという人たちこそ、少しの時間を割いて是非覗いてみましょう。きっと新しい発見があるはずですよ。脳外科の父と呼ばれた俳人でもあった新大の中田瑞穂先生が、句碑に「学問の静かに雪の降るは好き」と残されています。新潟に居てこそ体験できる、まさにうってつけの季節が間近です。

●編集委員 田口 洋

広報委員会第1部会

部長・編集委員長

石坂妙子(教育人間科学部)
ishizaka@ed.

委員

田中拓道(法学部)
takujit@jura.

芳賀健一(経済学部)
haga@econ.

竹内照雄(理学部)
takeuchi@math.sc.

柴田 実(医学部医学科)
mshibata@med.

五十嵐敦子(歯学部)
atsuko@dent.

加藤大介(工学部)
dkato@eng.

末吉 邦(農学部)
sueyoshi@agr.

井村哲郎(大学院現代社会文化研究科)
imurat@human.

寺尾 仁(大学院自然科学研究科)
terao@eng.

横山峯介(脳研究所)
myoko@bri.

田口 洋(大学院医歯学総合研究科)
yo@dent.

馬淵憲治(学務部長)
kmab@adm.

事務局(学務部)

TEL 262-6309 FAX 262-6304

E-mailのアドレスは、
niigata-u.ac.jpの標記を省略しています。

■新潟大学ホームページ <http://www.niigata-u.ac.jp/>

新大広報 Back Number http://www.niigata-u.ac.jp/gakugai/pr/c_forum/

新大広報のバックナンバーは上記のURLから見るができます。また、学務部学生支援課で受け取ることもできます。



新潟大学広報誌

Niigata University
Campus Magazine

新大広報



2007年 冬号

編集・発行 / 新潟大学広報委員会・新潟大学学務部
印刷 / 株式会社第一印刷所